

2020年度かもめ保育園事業計画

1、保育園の運営

- ・経営主体 社会福祉法人 一宮乳児福祉会
- ・所在地 一宮市末広1丁目21番10号
- ・定員 80名（0歳児13名、1歳児及び2歳児26名、3歳以上児41名）

2、保育目標

- (1) 子ども像 友だちも自分も大切にすることも
健康なこども
自分で考えて行動できるこども
意欲のあるこども
感性の豊かなこども

(2) 今年度の方針

- ①家庭的雰囲気の中で、子どもの心も体も健やかに育てる。
- ②給食は、保育の一環としてとらえて取り組む。
- ③職員が一つの集団として、園児の育ちや保育を把握して話し合いを深める。
- ④支援の必要な家庭には、専門機関等と連携を取りながら保育を行う。
- ⑤業務改善を進めていく。

3、職員配置(2020年4月1日予定)

園長1名・主任2名・保育士24名（正規職員9名うち育休中2名（4月1名、8月1名復帰予定）、常勤臨時職員2名、臨時職員1名、短時間臨時職員9名、嘱託臨時職員3名）・栄養士3名（正規職員1名・常勤臨時職員2名）・用務員3名（短時間臨時職員1名、嘱託臨時職員2名） 合計33名

クラス名（年齢）	担当人数
ひよこ組（0歳児）	3名
こぶた組（1歳児）	4名
きりん組（2歳児）	2.5名
ぞう組（3歳児）	1名
くじら組（4・5歳混合クラス）2グループ	2名

※ひよこ組8月から4名、きりん組7月から2名

4、定例会議

- (1) 職員会：昼間2か月に1回程度、夜間毎月開催
- (2) 乳幼児月案検討会：月1回
- (3) チーフ会：月1回
- (4) 各クラスパート会：月1回
- (5) 幼児クラスパート会：週1回
- (6) 業務改善会議：2か月に1回（園長・主任・職員代表）
- (7) パートのパート会：月1回

※その他、臨時の会議を開催することがある。

5、保育研修

職員に対し、以下の研修を行う。

- (1) 異年齢保育検討会(年数回)
- (2) 保育実践の検討会(年2回)
- (3) 幼児教育・保育「無償化」の学習会(年1回)
- (4) 障がい児保育の学習会(年数回)
- (5) 救急蘇生法及びAED取扱い講習(年1回)
- (6) 新任研修(年1回)
- (7) 合同研修(年1回)

6、年間行事予定

開催月	園行事
4月	春のつどい(幼児クラス)
5月	人形劇、遠足
6月	プール開き(乳児クラス)
7月	プール開き(幼児クラス)、七夕まつり、お泊り保育(5歳児)
8月	夜まで保育(4歳児)
9月	プール大会、移動動物園
10月	運動会、遠足
11月	いもほり、やきいも大会、交通安全教室
12月	クリスマス会
1月	おたのしみ会(幼児クラス)
2月	豆まき
3月	ひな祭り会、お別れ遠足(5歳児)、卒園式、

☆誕生会(月1回)、避難訓練(月1回)、クラス懇談会(年4回)、保育参加(幼児クラス年1回)、1日保育参加(乳児クラス年1回)

☆父母の会との連携行事(かもめ保育園運営総会、保育祭、大掃除、もちつき大会、交流会等)

7、子育て支援拠点事業(一宮市委託事業)

地域における子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するため、以下の事業を行う。

- ・子育てひろば(毎週火・木・金曜日施設開放ただし、木曜日は園庭開放も行う。)
育児教室、人形劇、移動動物園、クリスマス会等の行事を行う。
- ・かもめサークル(毎月第1木曜日施設開放)

8、一時預かり事業

保護者の多様化する就労形態に対応するため、一時的に保育が必要な子ども、保護者等の病気などにより緊急に保護を必要とする子ども、その他保護者の事情により保育できない子どもの保育を実施する。

9、地域に対すとりくみ

地域の保育要求を把握し、また地域の方にかもめ保育園を理解してもらうため、以下の取り組みを行う。

- (1) 子育てサークルへの施設貸出
- (2) 民生委員、自治会、町内会との連携
- (3) 保育祭案内配布
- (4) 地域ふれあいサロンへの施設貸出
- (5) 中学生の職場体験
- (6) インターシップ受け入れ

10、施設設備について

- (1) 施設設備の充実および修繕を行う。
- (2) 施設設備の点検を実施し、安全を確保する。
- (3) 施設の現状を調査し、5年後・10年後の修繕計画を立てるなど必要な準備を進める。
- (4) 設備の現状を調査し、必要な整備を進めるとともに、整備計画を立案する。特に全館エアコン入替に関して、市と協議しながら計画を進めていく。